

少数台数のリコール届出の公表について (平成31年4月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成31年4月は10件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：株式会社小松製作所

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月11日	4483	車名：コマツ 型式：YDP-WA138 他 通称名：WA100-8 他	76	平成30年1月7日～ 平成31年1月18日
不具合の部位等	燃料タンクや作動油タンク等に使用している口金付ホースにおいて、口金にホースを挿入する工程で使用する設備を誤ったため、ホース内部のワイヤーが損傷しているものがある。そのため、燃料または作動油の圧力によりホースが損傷し、燃料または作動油が漏れるおそれがある。			

2. 届出者：ヤンマーアグリ株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月12日	4474	車名：ヤンマー 型式：－ 通称名：YH6115	1	平成30年2月16日
不具合の部位等	刈取脱穀作業車の燃料タンクカバーにおいて、組付向きが不適切なため、燃料ホースと接触しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、振動等で燃料ホースに亀裂が入り、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。			

3. 届出者：井関農機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月17日	4486	車名：キセキ 型式：－ 通称名：TJV885 他	3	平成30年8月21日～ 平成30年10月5日
不具合の部位等	農耕トラクタのハーネスにおいて、配索方法が不適切なため、左旋回操作時に前輪タイヤと干渉するものがある。そのため、そのままの状態を使用を続けると、当該ハーネスが損傷し、最悪の場合、灯火類の不灯や、原動機が停止して再始動できなくなるおそれがある。			

4. 届出者：トライアンフモーターサイクルズジャパン株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月19日	外 2829	車名：トライアンフ 型式：2BL-DHJ1200 通称名：スピードツイン	53	平成30年11月18日～ 平成31年3月2日
不具合の部位等	クーラントリザーバーホースの組み付けが不適切なため、マフラーと接触しているものがある。そのため、当該ホースがマフラーの熱により損傷し、冷却水が漏れ、最悪の場合、後輪タイヤに付着し、転倒するおそれがある。			

5. 届出者：ヤマハ発動機株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
4月22日	4494	車名：ヤマハ 型式：2BK-RG43J 通称名：YZF-R25 他	39	平成31年1月29日～ 平成31年2月13日
不具合の部位等	前輪用ブレーキレバーの製造工程において、廃棄品（強度不足）の処置が不適切なため、正規品に混入し、車両に組付けられたものがある。そのため、ブレーキ操作時に当該レバーが破損し、ブレーキ操作ができなくなるおそれがある。			

6. 届出者：UDトラックス株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
4月23日	外 2840	車 名：ボルボ 型 式：2DG-KA2TDA1 他 通称名：FH	13	平成30年9月10日～ 平成30年9月10日
不具合の部位等	前後輪のブレーキキャリパーにおいて、キャリパー内の自動調整用駆動ピンの圧入方法が不適切なため、ブレーキ操作の繰り返しにより駆動ピンが折損するものがある。そのため、ブレーキパッドの摩耗が進行しても、ブレーキパッドとブレーキディスクとの隙間が自動調整されず、走行ブレーキ及び駐車ブレーキの性能が低下するおそれがある。			

7. 届出者：トヨタ自動車株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
4月24日	4491	車 名：トヨタ 型 式：ZBC-MUM1NAE 他 通称名：SORA 他	24	平成28年9月14日～ 平成31年1月17日
不具合の部位等	ワンマンバスの中扉開閉機構において、開閉制御仕様が不適切なため、扉が開いた状態から特定の操作を行うと、開閉状態を正しく認識できないことがある。そのため、扉が開いたまま走行することを防止する機能が作動せず、発車できるおそれがある。			

8. 届出者：エム・エス・ケー農業機械株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
4月24日	外 2831	車 名：フェント 型 式：不明 通称名：F936VARIO S4 他	35	平成27年3月5日～ 平成30年1月18日
不具合の部位等	農耕トラクタのエンジンにおいて、エアダクトの形状が不適切なため、エアダクトがラジエーターに接触しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けるとラジエーターが損傷して、冷却水が漏れるおそれがある。			

9. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
4月24日	外 2838	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：CBA-205386 通称名：メルセデスAMG C63 クーペ	11	平成29年2月10日～ 平成30年4月13日
不具合の部位等	エンジンコントロールユニットの制御プログラムにおいて、車両へ搭載する仕様指示が不適切なため、誤った仕様の制御プログラムが搭載されているものがある。そのため、騒音が基準値を満足しなくなるおそれがある。			

10. 届出者：メルセデス・ベンツ日本株式会社

届出日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
4月24日	外 2839	車 名：メルセデス・ベンツ 型 式：5BA-177084 通称名：A180	2	平成31年1月22日～ 平成31年1月26日
不具合の部位等	配光可変型前照灯において、制御プログラムが不適切なため、特定の条件下において運転者が切り替えレバーにより走行用前照灯からすれ違い用前照灯に変更できないことある。そのため、保安基準第32条(前照灯の基準)に適合しないおそれがある。			

【参考】

●平成31年4月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	30(+11)	25(+13)	5(-2)
輸入車	23(+8)	18(+7)	5(+1)
計	53(+19)	43(+20)	10(-1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数（令和元年度）

<速報値>

	届出件数			対 象 台 数		
	国産車	輸入車	合 計	国産車	輸入車	合 計
4	30(+11)	23(+8)	53(+19)	4,894,225(+4,646,210)	77,234(+67,120)	4,971,459(+4,713,330)
小計	30(+11)	23(+8)	53(+19)	4,894,225(+4,646,210)	77,234(+67,120)	4,971,459(+4,713,330)

※ () 内は、対前年同月比

(問い合わせ先)

国土交通省自動車局審査・リコール課 リコール監理室 加藤・通事 電話 03-5253-8111 (代表) (内線 42353)
